

美空~MISORA~ 第186号

発行日:2025年3月3日
発行者:NPO 法人 電線のない街づくり支援ネットワーク
理事長 高田 昇

目次 INDEX

- ・活動報告
東京理事会・合同理事会・沖縄活動委員会
北海道活動委員会の報告 …… 1
- ・NPO 無電柱ネット 2025 活動方針 …… 2
- ・2025 春インターン生の活動案内 …… 6
- ・NPO・HP 会員企業向け広告募集 …… 10

特定非営利活動法人
電線のない街づくり支援ネットワーク
THE NETWORK FOR NON POLE COMMUNITY

【活動報告】

2025年2月12日(水)17:00~17:30

東京理事会

場所: WEB (Cisco Webex)

参加者: 9名

■議事内容■

1. 今年度の東京支部の方針について

- ・国交省部会関連 (民間SWGも含む): 野原理事担当
- ・街並み見学会: 北村理事担当
- ・海外事例: 前川理事担当
- ・その他: 事務局主導 総会の報告、推進展の宣伝と結果報告、その他、講師派遣も含めた講演運営
- ・シンポジウムの検討

2. 事務局報告(今後の予定)

- 3/12(水) 東京理事会・合同理事会 (WEBのみ)
- 4/22(火) 東京理事会・合同理事会・東京活動委員会
- 6/5(木) 首長会総会 (予定)
- 6/20(金) NPO社員総会、総会セミナー (予定)
- 7/23(水)~25(金) 第13回無電柱化推進展

※NPOのイベントで予定が決まっているものは、下記リンクより確認いただけます。

<https://nponpc.net/calendar/>

パスワードが必要な場合は nponpc2025

3. その他、情報交換

- ・東京都の補助金説明会において無電柱化相談窓口、事業者相談窓口を設置している。いずれも無料で相談できるので是非利用して下さいとのこと。
木密地域の無電柱化に関して、東京都が全面的に補助するとのこと。注目したい。
→木密地域に関しては、立ち上げたものの案件がまだない。狭隘な道路なので、なかなか無電柱化ができない。数例でも実績をつくって進めていきたい方針。
→東京都が公社に委託して、どうすれば木密地域の無電柱化ができるかヒヤリングをしている。

4. 今年度無電柱化推進展の展開に関して

- ・今年も引き続き2ブースでの展開で進めたいと思います。
→2ブース実施するにあたり、企業協賛を募ります。製品展示やパネル展示に関してご意見・アイデアをお願いします。

5. 次回理事会の予定

3/12(水)17:00~ 合同理事会あり (WEB 運営)



東京理事会の様子

【活動報告】

2025年2月12日(水)17:30~18:00

合同理事会

場所: WEB (Cisco Webex)

参加者: 12名

■議事内容■

1. 高田理事長より

皆さんもご存知のことと思いますが、今年に入ってから全国的に猛烈な豪雪が毎日のように発生しています。日々のニュースの冒頭に災害が報道されるという事は、これまでにない状態です。当然のこと停電、道路・鉄道の不通などの被害が発生して、多くの地域・人々がいることが連日のように続いています。
このような状況を目の前にして、私たちの行動計画を加速することが求められているのではないのでしょうか。
幸いすでに「2025年度の方針・大目標」が固まりつつ

あり、その実現することに少しでも早く取り組むことが必要かと思えます。

2. 事務局報告(今後の予定を中心に)

※前掲の東京理事会と重複するので割愛

- ・2月～3月にインターン生3名（大阪の大学生3名、それぞれ1年）を受け入れ。

3. 2025年度のNPOの活動方針について

- ・昨年度の方針を参考に、理事の皆様のご意見や高田理事長のコメントを反映させていただき、事務局でまとめてみました。

→各支部・理事の意見を反映させて最終的な方針とする。

4. 各理事会・総会日程の確認

- ・現状、6月20日(金)で進める。

※3月1日(土)が大阪市立総合生涯学習センターの会場抽選日。

5. 今年度無電柱化推進展の展開に関して

- ・昨年と同様に2ブース展開で実施する。

→昨年のような協賛展示に賛同していただく会員企業さまを募集する

6. 支部長・理事報告

7. 次回の予定

- ・3/12(水)17:30～18:00（WEB 運営）



合同理事会の様子

【活動報告】

2025年2月13日(木)17:00～18:00

沖縄活動委員会

場 所：みんなの貸会議室 泉崎店

WEB（Zoom）

参加者：12名

■議事内容■

1. 伊志嶺支部長より

次年度の沖縄支部の活動方針は、従来の活動を継承しながら、2～3か月ごとに会を開き、情報の共有をしてみたい。

2. 事務局報告

- ・2月～今後の予定について説明

3. 2025年度NPO活動方針について

- ・修正の意見が出たので反映する

4. 伊津理事、伊志嶺支部長より

・伊津理事より

防災庁設立準備室について

・伊志嶺支部長より

2/26開催のゲートウェイ2050プロジェクトについて

5. 次回の予定

・4月14日(月)17時～

【活動報告】

2025年2月14日(金)17:30～18:00

北海道活動委員会

WEB（Zoom）および北海道支部

参加者：15名

■議事内容■

1. 本日の活動委員会の内容

2. 前回活動委員会の議事録確認

3. 活動報告として

- 1) 「2024年無電柱化の日 パネル展」の結果報告
- 2) 伏見小学校出前授業イベントについて
- 3) 無電柱化推進のコスト縮減手引き等勉強会

4. 2025年度NPOの活動方針についての事務局からの説明(要点確認)と意見聴取

5. NPO北海道支部長より挨拶

6. 2025年度北海道支部の活動方針(案)

7. 重点課題について

8. 参考意見

9. 参考資料の説明

10. 関係者との意見交換など

11. 事務局報告

12. 閉会の挨拶

7月23日(水)～7月25日(金)開催

第13回無電柱化推進展のNPOブースで
自社及び自社製品をPRしませんか！



今年の7月も東京ビッグサイトで開催される無電柱化推進展に出展する予定です。

冊子・展示・PR動画など、皆様と一緒に盛り上げていきたいと思っています。

是非、ご協賛お願い致します!!

詳しくは
こちらのHPの案内から
クリックお願いします！



NPO法人電線のない街づくり支援ネットワーク 2025年度 活動方針



昨年は元旦早々に能登半島地震があり、その後も豪雨を受けると言う大変な災害から始まりましたが、その復旧は未だに10分の1とされています。

また、今年は阪神淡路大震災から30年の年を迎えます。その被害の大きさは言うまでもなく大変なものです。しかし一方では復興を通じて震災以前の3倍の電線類の地中化が進んだと言う成果があります。その気があれば地中化は可能性があることが実証されたとも言えるでしょう。

また、昨年の特徴として豪雨・豪雪が全国的に見られたことがあります。その結果として電線・電柱・鉄塔への着雪による停電の多発と言う今までには珍しい状況があります。

しかし国の政策として「防災庁」の設置が打ち出され、すでにその準備室が用意されたとのこと。さらには一極集中の問題への対応として「地方創生」が打ち出されています。これらのことから、全国的に電線類の地中化が加速することが期待されます。

私たちの取り組みをもう一度見直し、地域や現場に応じた最適な解決策としての無電柱化を提案していきます。

2025年度スローガンとして

「無電柱化は喫緊の社会課題です」
「地域や現場に応じた最適な無電柱化アクションプランをすみずみまで」
を掲げます。

1. 無電柱化の目的と意義を改めて考える

1) 防災重視の方針をかかげる

- ・2024年の元旦に発生した能登半島沖地震の調査で、地中に埋設された配管は、破損することなく、通電していることが国土交通省の調査で分かった。
- ・1995年の1月17日に発生した阪神・淡路大震災でも地中線の被災率は架空線に比べて極めて低いことが分かっている(架空線の被災率2.4%に比べ、地中線は0.03%)。
- ・また地震や台風が発生するたびに電柱が倒壊し、電線が断線し、停電がおこる。倒壊した電柱・電線類は緊急輸送の妨げになり、一刻を争う人命救助や火災現場に向かう緊急車両の道をふさぐ。
- ・防災強化の観点からも緊急輸送道路を中心とした無電柱化推進を全国規模で訴えていきたい。
- ・無電柱化は災害時における道路や通信網の確保、避難経路の整備、災害対応のスピード向上に貢献します。医療機関・拠点の電源・通信の確保、近年増加している木密地域での火災への迅速な対応などが可能となり、人命の救助に大きな役割を果たします。

総務省の発表では防災ヘリの出動が大幅に増える状況下で、レスキューと医療の関係が重要になっている。今後の NPO の活動として、総務省、消防のレスキューとの連携、厚生労働省の医療関係との関わりが重要な役割だと考える。

2) 狹隘道路や住民が多く住む地域(ラストワンマイル)の無電柱化推進を考える

- ・防災重視の観点から、緊急輸送道路での無電柱化は進みつつあるが、住宅地などの面整備での無電柱化は、狹隘な道路が多いという施工面での難しさや、費用が要請者の負担になる場合が多いこと、補助金申請の際の手続きの煩雑さから、電柱の増加が止まらない。住民が多く住む地域(ラストワンマイル)の無電柱化が進んでこそ無電柱化の目的が果たせたとと言えるのではないか。
- ・電柱が減るところか増え続けている現状に NPO の立場からストップをかけていきたい。

3) 景観面での無電柱化を支援・促進する

- ・全国の国立公園・景観地区で美しい景観を損なう場面への問題提起や、インバウンドの復活と共にオーバーツーリズム対策や「日本の原風景」へのニーズに対応できる無電柱化を促進するといった動きを強める。

2. 無電柱化推進のための連携を強化する

1) 電線管理者との連携強化を図る

- ・無電柱化に関する課題解決には、電線管理者との協力が不可欠である。電線管理者との連携をさらに強化し、全国規模での協力を促進していく。

2) 引き続き国・自治体・行政機関との連携を強化していく

- ・自治体が無電柱化の事例を求めている状況に対応するため、成功事例を紹介し、地域ごとの導入促進を支援していきたい。国土交通省や他の行政機関とも連携し、自治体担当者の一助となるようなセミナーや勉強会(東京活動委員会、全国技術委員会 OSAKA)で情報の発信を行う。
- ・特に、無電柱化を推進する市区町村長の会と一般財団法人日本みち研究所とは、セミナー・勉強会・情報共有等で引き続き連携していく。

3. 規制緩和と新技術・工法の工夫を提案する

1) 民間技術の導入と支援

- ・民間技術の積極的な導入を支援し、規制緩和や新技術の提案を行うことで、技術革新を促進する。

2) 現行制度の検証と改善提案(規制緩和)

- ・直接現場に関わる民間の立場を活かして、国の部会でも議論が進められている現行制度に関して、更に課題を抽出し、検証を行い、国に積極的に改善提案をする。

民間側溝配管規制の緩和提案 側溝配管の規制緩和を提案し、狹隘道路などの無電柱化の推進に寄与する。

T-25 規制緩和と耐荷重検証 T-25 規制緩和提案とともに、小型 BOX(T-14)の耐荷重についての検証を行い、効率的で安全な工法の導入を提案する。

軽量化とコスト削減 新しい軽量で持ち運びやすい樹脂製の製品を導入し、狹隘道路での無電柱化を可能に。工事期間を短縮し、自治体や関係者の関心を引く。

3) コスト効率と施工の改善

低コスト実現に向けた提案 低コストの実現に向け、規制緩和や新しい工法の導入を進める。特に、歩掛の問題や人件費に注目し、施工業者との協議を通じて実現可能なコスト削減策を検討する。

地上機器設置交渉の改善 現行の試験掘り→電力会社→交渉というプロセスにおける改善を図り、工事の遅延を防ぎ、コスト削減を進める。

昼間の常設作業帯の好事例 昼間の常設作業帯の成功事例を紹介し、増やしていくことが重要。これにより、無電柱化の作業がスムーズに進むことを実証する。

※夏場においては、夜間工事のほうが効率的な場合があるなど、現場の意見を反映させたい。

4. 無電柱化の事例の紹介と普及活動に努める

1) 民間事例紹介の推進をはかる

- ・無電柱化の成功事例、特に岡山県矢掛町やその他の事例を紹介し、自治体に対する普及を進める。成功した事例を広め、具体的な成果を示す。
- ・見附市、先斗町、東海市、睦沢町、佐久市、矢掛町、福知山市などでの実例を整理し、検証した上で、低コスト化への課題を解明し、国や関係機関とも綿密に連携して情報交換して、低コスト化手法の普及・拡大に努める。
- ・当 NPO から提案した会員企業の技術が認められ、普及しつつあるが、普及するにしたがって適材適所での使用法の検討や情報共有を進めていく。

2) 伝統的建造物群保存地区等優先性の高いエリアでの事業化を支援、促進する

これまでに取り組んだ「重伝建地区」へのアンケート実施を生かしての相談・支援をさらに強め、無電柱化推進の契機につなげる。

重伝建地区・伝建地区の監督官庁は文化庁であることに留意して、連携をとりながら進めていく。

3) 新規メーカーの参入促進をはかるとともに、個人も含めた会員サービスの充実も検討する

無電柱化に賛同いただける企業・個人への会員拡大: 現在、当 NPO には、無電柱化の推進に賛同いただいている個人のほか、無電柱化に関わるメーカー、施工関連業者、コンサル、ハウスメーカー、その他関連部品・部材メーカーなど多岐にわたっているが、更に無電柱化に間接的に関わる快適なまちづくりに寄与する企業にも声をかけて、会員拡大につなげる。

対面で実施するセミナーやシンポジウムを実施する 対面で実施するセミナーやシンポジウムの開催により、企業間・個人間のコミュニケーションがとれる土壌をつくる。



2025年春

インターン生の
活動案内

インターン研修(オリエンテーション)に取り組んでいる今春の学生たち 当 NPO 事務所にて

皆さん、こんにちは！今回は、今春来ているインターン生の活動をご紹介します。

最近、当 NPO に参加している学生さんは 1 年生が多く、まず社会勉強から始めたいという目的で参加されるかたが多いです。

したがって「無電柱化」の知識もこれからという段階です。

NPO で 2 カ月してもらおうカリキュラムとしては、まず「無電柱化の現状と課題」を知ること。その現状と課題について、自分なりに咀嚼した上で、啓発につながる企画を考え、実行し、実行した結果を分析し、振り返ることをしていただいています。

今、インターン生が行っている企画をご紹介します

▶無電柱化大学生向け意識調査アンケート

この企画は、毎回、インターン生に取り組んでもらっている企画です。

参加した学生が、過去のアンケートの内容や結果報告をみて、検証し、進めています。

目標を定め、チームで取り組んでもらっています。

こんにちは～！

◎作者の雑談コーナー

寒い中、このページに辿り着いてくれてありがとう！！

辿り着くまで大変じゃなかった！？

私は、「無電柱化」の活動中である、大学生です！！

いきなりだけど、アンケートに答えて欲しいな～



もう少し話を聞いてくれる？…

HP の一コマ (全体は[ここをクリック!](#))

無電柱化学生意識調査アンケートから発展！

▶無電柱化一般向け意識調査アンケート

今回、アンケートを担当している F さんの一言「大学生以外の一般のかたにもアンケートをとってはいけないのでしょうか？」からこの企画がうまれました！

確かに！ インターン生だから対象を大学生に絞る。というも、視野が狭かった感がありました！早速、一般向けのアンケートも進めることにしました。

「無電柱化」を広めるとともに、「無電柱化」について意見も出してもらおうという企画です。学生のアンケートよりややボリュームを持たせています。

是非、アンケートに参加して下さい！

こんにちは～！

◎作者の雑談コーナー

◎2025年春「無電柱化」一般人向けの意識調査のお知らせ！！

今回は一般人向けのアンケートなので、

気合入れてつくりました！！ よろしくお願ひします。

下記のアンケートに答えてくれると助かります。

(※切3/20)

HP の一コマ

(全体は

[ここをクリック!](#))



今、インターン生が行っている企画をご紹介します

▶インターン生ブログ、インターン生が無電柱化のメリット(防災面)を解説。

この企画は、インターンが始まる前の1か月足らずに、事前に NPO の HP で常にダントツの閲覧数を誇る「[無電柱化とは](#)」を読んで、その感想や意見をインターン初日までにレポート提出してもらっていますが、その中でしっかりまとめてくれていたインターン生の I 君に、無電柱化の目的について「ブログ記事を書いてみて」とインターン担当の塚田よりもちかけました。当初は、防災、交通安全、景観でまとめて解説してもらおうと思っていましたが、防災だけでしたほうがまとめやすいとの判断で、現在、三つの目的を分けて進めてもらっています！

その防災面のメリットのブログから一部をご紹介します！

【参考】ブログ記事から

皆さん、こんにちは！

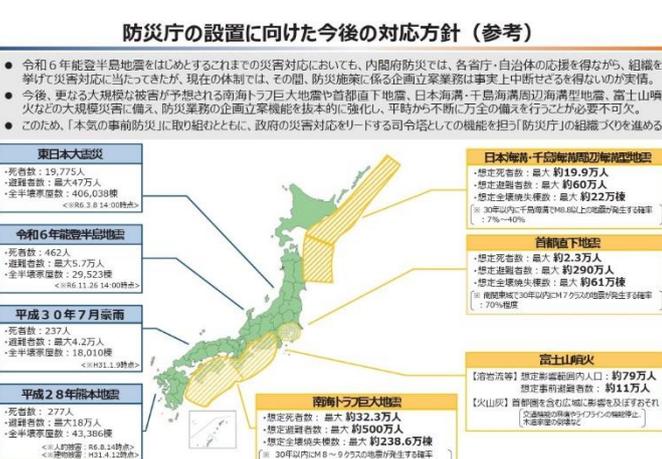
今春 NPO 無電柱ネットでインターンをしている学生 I です。

活動の一環で、私なりに「無電柱化と防災」についての記事を書いてみました。

是非、ご一読お願いします！

はじめに

昨今ささやかれている、いつ起きてもおかしくない大災害、南海トラフ。電力に焦点を当てた場合、[内閣府防災情報](#)によると、南海トラフ地震による全国での停電件数は最大で 2,930 万世帯にのぼるとされおり、復旧に 1 週間から 2 週間かかるとされています。また 2024 年 1 月 1 日に起きた能登半島地震では、電気の復旧に 1 カ月を要しました。



地震の発生確率は、地震調査研究推進本部による（令和6年1月時効） 防災立国推進閣僚会議 資料より



ロンドンの無電柱化された街並み



日本の電柱・電線が林立する風景

地震の他に、令和元（2019）年9月に千葉県を中心に発生した台風15号による長期停電では、完全復旧に19日を要しました。こうした中、震災時に強いとされているのが無電柱化の街です。今回は無電柱化の概要、今の日本の現状、そしてメリット、デメリットを詳しく解説していきます。

無電柱化とは

無電柱化とは、街中に設置されている従来の電柱を撤去し、電線や通信線を地下に埋設する工事のことです。日本でもこの無電柱化は各自治体で推進されています。

無電柱化とは？（中部地方整備局）

日本の無電柱化の現状

全国には依然として、道路と民地をあわせて約3,600万本の電柱が建っており、減少するどころか増加しているのが現状です。世界の主要都市では電線類の地下化が進む一方、日本の空を見上げると電

[続きはコチラから!! \(ここをクリック!\)](#)

今、インターン生が行っている企画をご紹介します

▶ インターン生ブログ、インターン生が無電柱化のメリット（景観面）を解説。

最初に投稿したブログ記事、防災面の続編、景観面での記事です。

景観面での特色を活かし、きれいな街並み・風景を入れる工夫をしています。

旅行気分も少し感じてもらいながら、読んでいただけるような記事です。

こちらも一部ご紹介致します！

[【参考】ブログ記事から](#)



山梨県富士吉田市で見られる二つの富士山の風景

無電柱化のメリットとして地震、台風といった災害に強いことが挙げられますが、もう一つのメリットとして、「景観がよくなること」があげられます。このレポートでは特に景観に焦点を当てて解説していきたいと思います。

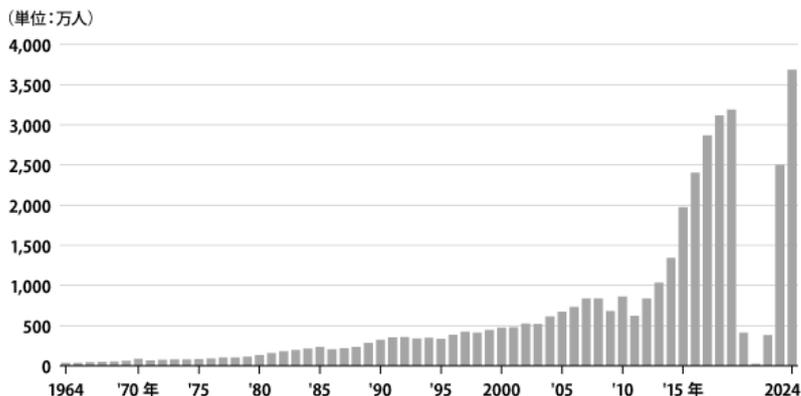
政府がインバウンド（訪日外国人旅行/訪日旅行）を推進している影響で、近年、外国人観光客がますます増加しています。2014年の外国人観光客は年間で1,341万人であったのに対し、2024年の外国人観光客の数は年間で3,686万9,900人と、この10年間で約36%増となっており、今後も増加すると考えられています（右図）。

そこで問題になってくるのが観光地の景観です。海外では電線類の地中化が当たり前の都市もあるため、日本の電柱・電線が乱立した風景に違和感を覚

える観光客も多いようです。実際、過去のインターン生の取材では「日本の風景はあまり美しくない」と答える観光客も多く、「景色はいいのに電柱・電線が台無しにしている」という意見が多く見受けられました。日本の街中を撮った写真では、いたると

▶ 訪日客数の推移（1964-2024）

やまところ.jp



ころに電柱・電線が写り込んでおり、確かに古き良き日本の風景には似合わないと感じられます。インバウンドを進める以上、景観の向上も進めていかなければなりません。

無電柱化が観光客増加につながる？

無電柱化を進めて観光客が増加したケースがあります。例として島根県太田市・石見銀山、埼玉県川越市・一番街、福島県下郷町・大内宿などがあげられ、これらの観光地は無電柱化整備後から年々観光客が増加しています。今回そんな無電柱化事業に力を入れた観光地をいくつか紹介します。

島根県大田市 石見銀山

自然に囲まれた石見銀山は、2007年ユネスコの世界遺産に登録され、採掘坑道である間歩や銀により栄えた町並みを散策しながら観光できることから、「歩く世界遺産」として世界的にも珍しい観光スポットとなっています。石見銀山は16～17世紀頃、世界屈指の銀の産出量を誇り、産出された世界の銀

の約3分の1を日本が占め、その多くが石見銀山のもんと言われているそうです。

大森の街並みは無電柱化が進み、江戸時代に建てられた歴史的な建造物や文化財が並び、落ち着いた雰囲気を感じられる人気スポットとなっています。

続きはコチラから!! (ここをクリック!)

今回紹介した内容以外でも、予定として

- ・NPOの活動紹介の動画作成
- ・無電柱化の説明動画を作成
- ・ドクターヘリ、医療機関への取材
- ・道路陥没事故から、地下埋設の地中探査について取材
- ・インターン生が無電柱化のメリット(交通安全)を解説。

などを検討しています。

本誌でも紹介する予定です。

どうぞ期待!!



大森の街並み (左) と竜安寺間歩 坑道内 (右)

NPO 無電柱ネットのホームページで

会員企業さまの紹介コーナー広告協賛を募集致します！

NPO 法人電線のないまちづくり支援ネットワークのホームページのトップページ(下図参照)で、会員企業さまの広告を出してみませんか!!
下の図の6カ所(黄色の矢印で示した部分)に枠を設けています。①～⑥のところです。



掲載期間	法人正会員	法人賛助会員
3か月	1万円	2万円
6か月	2万円	4万円
1年	3万5000円	7万円

・お申込後、掲載原稿データとリンク先 をご用意ください。

⇒ご入金の確認がとれましたら、掲載を進めます。

・掲載のタイミングは、毎月1日と16日に行います。

・掲載終了の約20日～1か月前に「継続」か「終了」かのお伺いをしますので、ご返事をお願い致します。

・掲載原稿データは、JPEG データ、サイズは222px×58px をお願い致します。

・クリックしたときに御社の広告へと進むリンクの URL をご用意ください。

現在、サンプルとして左のホームページの画面の①②③④にバナーを設けています(上のHPの写真を参照下さい)。

広告募集は上図の①と③でも、クリックすると、詳細が見れます！

2007年設立 北海道から沖縄まで全国展開

会員募集中！

NPO法人電線のない街づくり支援ネットワーク

脱・電柱社会 日本の空を取り戻そう！

当 NPO では、会員の皆様に向けて、無電柱化に関する最新情報をお届けするとともに、国や自治体の関連施策や補助制度についても積極的に情報提供を行っています。さらに、HP での情報やインターン生の活動を通じて、一般の方々にも無電柱化のメリットを伝え、街づくりへの関心を高める取り組みを進めています。無電柱化は、災害時の安全確保だけでなく、美しい景観やバリアフリーの推進にもつながります。私たちと一緒に、誰もが安心して暮らせる街を実現しませんか？

ぜひ、NPO 法人電線のない街づくりにご参加いただける会員の参加をご紹介ください！

<https://nponpc.net/%e4%bc%9a%e5%93%a1%e5%8b%9f%e9%9b%86/>

当 NPO のホームページのトップページの画面

当 NPO のホームページに法人会員さまのご紹介コーナーを設けることにいたしました。 [ここをクリック！](#)



◆紹介ページの掲載にあたって

- ・当 NPO の法人会員(正会員・賛助会員)であること
- ⇒ [当 NPO の会員募集 のページはコチラから](#)
- ・掲載にあたっては、掲載料をお支払いいただきます。